

平成19年度 学校評価表

府中市立岩谷小学校

1 経営理念

「強く・正しく・むつまじく」(校訓), 「やりきる」(スローガン)		
<p>&lt;めざす子ども像&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で考え、自分から学ぶ子ども(強く)</li> <li>・あいさつ返事が、誰にでもできる子ども(正しく)</li> <li>・元気でやりぬく子ども(むつまじく)</li> </ul>	<p>&lt;めざす学校像&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員が連携・協働して組織的に仕事ができる学校</li> <li>・閉校を前に、保護者・地域から愛され感謝される学校</li> </ul>	<p>&lt;めざす教職員像&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合を前に、設定した目標を教職員もやりきり、児童にもやりきらせる教職員</li> <li>・社会や子どもの変化に柔軟に対応できる教職員</li> </ul>

2 経営目標・評価項目・評価。達成状況

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価	経営目標の達成状況
確かな学力	○一人ひとりの児童に基礎・基本の学力を定着させ、府中学園でも生活できるたくましい力を育てる。	○「ことばの教育」を推進することにより、表現力を育成する。(言語技術) ◎自分の考えを最後まで言い切れる児童を育成する。(学習規律) ○友だちと協力して学習できる、協調性を育てる。(学習集団づくり)	・言語技術の指導を年間15時間以上実施し、自分の考えを分かりやすく伝える力をつける。 ・ことばの教育を取り入れた授業研究を一人1回以上行い、言語技術を生かした授業づくりをする。 ・言語技術を取り入れた作品作りをし、ことばの輝きコンクールやジュニアレポーターにも応募する。 ・話し方、聞き方を中心とした学習規律を身につけさせる。	3 4 3 3	・年間計画にそって実施し、さまざまな言語技術が身についた。 ・ステップアップリーダーや講師の指導を受け、一人2回行うことができた。 ・ことばの輝きコンクールに全学年出品した。児童全員が5点以上作品を作った。 ・「話す・聞く名人レベルアップ」を作成し、自己評価をさせながら身につけさせた。
豊かな心	○豊かな心を持ち、仲間とともに伸びる子どもを育てる。	○あいさつ返事が日常化するよう指導する。(礼儀・節度) ◎自分で考えて、善悪が判断できる児童を育成する。(規範意識) ○相手のことを思いやれる児童を育てる。(豊かな心)	・教師自らが、あいさつや返事の規範を示し、場に応じたあいさつや返事ができるようにする。 ・終わりの会等で、自分をふり返る場を設定する。 ・縦割り班や学校全体でふれあえる行事を年間7回実施する。 ・閉校にむけて地域や学校に感謝する気持ちを育てる。	3 3 4 4	・伸びは見られたと評価しているが、保護者や地域からの評価はまだ十分とは言えない。 ・場の設定により、自分をふり返る意識が高まった。 ・つながりの持てる行事を実施することができた。 ・地域の人を招待し、感謝の気持ちを伝える会を持った。
がんばる体力	○基本的生活習慣を育成し、自立を促す。 ○体力づくりを推進する。 ○食教育を推進する。	○目標カードを作成し、体力づくりに努力する児童を育成する。(体力づくり) ○運動の楽しさを指導し、継続することを習慣化させる。(習慣化) ◎早寝、早起き、朝食を摂る生活リズムを日常化する。(生活リズム) ○危険回避のできる児童を育てる。(危険回避能力)	・鉄棒、マラソン、なわとびのがんばりカードを作成し、個人の目標を設定し、個人の努力を評価する。 ・体育の時間にサーキット運動をとりいれ、継続した取り組みを行う。 ・生活リズム強化月間(6月、10月、2月)を設け、児童・保護者が生活リズムの大切さについて意識する。 ・子ども防犯ニュースを月1回配布し、学校・家庭で安全指導を行う。	3 4 3 3	・カードをワークシート代わりとしても使用し、児童の運動に対する意識の高まりにつながった。 ・教師の声かけがなくても、自主的にサーキット運動ができるようになった。 ・年3回の実施はできた。全体的によくはなっているが、児童の自己評価に伸びが見られなかった項目もある。 ・児童の安全を重要事項ととらえ、その都度指導を行うとともに、地域との連携をはかった。

3 改善の方向

平成19年度の学校経営目標は、平成20年4月からの統合小学校(府中小学校)へのスムーズな移行を重点として取り組んできた。「確かな学力」では、自分の考えを最後まで言い切れる児童の育成。「豊かな心」においては、自分で考え行動できる児童の育成。「がんばる体力」では、生活リズムを日常化することに重きを置いてきた。

今現在、一定の目標は達成されてきたものと考えているが、学級人数で4倍、全校児童数では10倍の大所帯になるので、一人一人が充実した学校生活を送れるよう、府中小学校においても更なる指導をお願いしたい。

評価基準	4 目標を大きく上回って達成できている	3 目標どおり達成できている	2 目標を下回った	1 目標を大きく下回った
------	---------------------	----------------	-----------	--------------